

こんな
活動です

地域素材を教材に～平和を語り継ぐために～

菊池	●活動名		●関係する学校名						
	講話「小さな引き揚げ者の体験」		菊池市立菊池南中学校						
活動区分	学びによるまちづくりや地域課題解決型学習	地域人材育成	郷土学習						
	地域行事への参加・参画	ボランティア・体験活動	学校周辺環境整備	外部人材を活用した教育プログラム					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	学校運営協議会	有	無	企業・NPO等との連携	有	無
	0人		1人						

● 活動の概要・特徴や工夫

3年生150名を対象に、講話を行った。3年生社会科（歴史的分野）授業の一環。「第二次世界大戦」を学習した生徒たちの学びを深め、平和な社会をつくる主体者であるという自覚を高めるのが目的。講師は、市内在住の坂本玲子さん。坂本さんは、旧満州生まれ。戦後、引き揚げて博多に上陸、菊池に辿り着く。当時3歳ではあったが、見聞きたことが強烈に記憶に残っているとのこと。満州でのソ連兵や中国人、家族の様子、引き揚船での出来事、南方での戦況などについて、「小さな引き揚げ者の体験」というテーマで語っていただいた。当日までに、坂本さん、教科担当教諭、地域学校協働活動推進員と、講話の内容（原稿）や提示資料について何度も打合せを行った。講話の内容を講師任せにしないで、講師と受け入れ側で事前準備を入念に行うことで、より教育効果が高まることを実感した。

● 活動の様子



みなさんが受け取った平和のバトンを、身近な人に手渡して欲しいと願っています。



自分たちができることは、戦争のことを、次の世代に伝えていくことだと思います。



● 地域学校協働活動における効果・成果

講話の後、生徒たちの感想を坂本さんにお渡しした。数日後、「中学生に話をするのは初めてで、『聞いてもらえなかったら、どうしよう』と、私はとても緊張していました。でも、それは杞憂でした。真剣な表情、眼差しのみなさんに向き合った瞬間、戦争の悲惨さと、戦争は絶対にしてはいけないということ、みなさん一人ひとりに伝えなくてはと、それまでとは違った緊張感と先輩として、また大人としての使命感を覚えたのでした。」という内容のお手紙をいただいた。身近な地域の戦争体験者の存在に関心が高まった生徒たち。社会科では、夏休みに、「（戦争について）身近な人に、話を聞こう」という課題を与えた。どのような貴重な体験が報告されるのか、期待しているところである。